

# 社団法人 音楽電子事業協会 平成 18 年度事業計画・委員会活動

(平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで)

## (1) 全体活動

現在の市場では各種の多種多様な最新技術の応用範囲が拡大する中で、これまでの電子楽器及びその関連商品ジャンルでも各種新技術が積極的に導入され、小型化、高性能化が促進されている。又ソフト面でも予想を超える変化の時代となっている。

この現実を踏まえて、当社団として各部門で今後の新たな対応が求められていることを、関係者全員で認識し、可能な分野から逐次新たな指向で各委員会活動を積極的に推進する。尚、以下各委員会活動は、定款(事業)第 4 条の各項に準ずるものとする。

## (2) 製品安全・環境委員会

### <活動方針>

電子電気楽器及び関連機器の安全確保・環境保全を軸とした、技術、法律、規格に関する諸問題の調査研究を、専門部会が主体性を持って推進することによって、会員各社の専門知識の習得や技術の向上を目指すものとし、もって、電子電気楽器及び関連機器市場における製品の安全性や信頼性の向上の確保、更にはそれに伴う関係会員企業の事業の安定化・事業リスクの低減に寄与するものとする。

### ・委員会活動

二つの専門部会の部会長交替を機に、これら専門部会を中心とした更なる協力体制を構築すべく、委員会運営内規の見直し、新規委員の勧誘、役割分担の検討等を通じ、本委員会活動の趣旨を全うするための運用上の施策として、活動環境の整備、工夫改善に取り組んでいく。

### ・安全規格部会

安全規格部会部会長を末次賢一氏(ヤマハ株式会社)から田中敏夫氏(ローランド株式会社)へ交代

- 1 会員の技術向上を目指した安全規格セミナー(IEC 基礎知識等)、EMC フィールド実験等の実施
- 2 CISPR マルチメディア国際規格策定への継続的参画
- 3 中進国の法規制状況を中心とした各国規制動向の把握と情報提供

### ・環境問題研究部会

- 1 容器包装リサイクル法の改正に関する動向調査の実施
- 2 欧州 WEEE & RoHS 指令の施行状況確認

## (3) MIDI 規格委員会

### <活動方針>

新たな時代に対応するための組織及び規格審議体制の早期確立をする

- 1 IT 関連市場の展開に合わせ、迅速かつオープンな規格審議体制
- 2 MIDI の新市場の創造に向けた新規提案による市場の活性化
- 3 MMA とのより密な連携体制の構築と審議の迅速化

・幹事会の廃止、各部会の体制ならびに機能の見直し

4. MIDI 規格委員会の内部規定の明確化
  - ・現行 MIDI1.0 規格の整備ならびに運用ルールの明確化
5. MIDI の新市場開拓の具体化に向けた検討の実施
  - ・着信メロディに続く新規市場創造を視野に入れた規格の立案
6. AMEI 新規会員獲得をすべく他分野との積極的な連携を持つ
  - ・特許、商標等の MIDI 関連 IP に関するルールの明確化
  - ・モバイル、ロボティクス、デジタル家電市場などへの MIDI 規格の応用提案

<委員会・部会活動>

1. 年間 6 回の委員会を開催
2. MIDI 規格委員長を加藤世紀氏(株式会社コルグ)から飛河和生氏(クリムゾンテクノロジー株式会社)へ交代
3. 従来の規格検討部会と応用研究部会を廃止し、新たに MIDI 1.0 部会と f-MIDI(仮称)部会で活動する(詳細は早急につめる)

(4) 著作権・ソフト委員会

<活動方針>

1. 著作権等管理事業法の制定に伴い発生した問題点等を解決すべく関係団体と協力し文化庁に対する活動の継続実施。又、各種変化の中で新しい問題に対して制度疲弊を起こしていると考えられる部分に対しては、関係省庁、管理事業者等に積極的に発信していく。
  2. 定例会を通じ各部会の取り組み課題、管理事業者との協議状況をタイムリーに情報提供、会員の意見を吸収、部会活動に反映させる事により活発な活動にする。
- ・カラオケ部会
    1. JASRAC 等管理事業者に使用料規程の見直し協議を引き続き行う。
    2. 管理事業者の管理楽曲が管理除外された場合の対応問題に関して、関係団体とも協力してその解決にむけ文化庁等に働きかけていく。
  - ・インターネット・モバイル部会
    1. NMRC 事務局機能を AMEI 事務局にて運営する事により、従来にも増して関係省庁及び関係団体への影響力の拡大、会員へのサービス向上を図る
    2. 音楽配信事業に関する著作権管理事業者との協議を NMRC 活動として行う
    3. カラオケ部会と共同で管理楽曲除外問題に取り組む
  - ・ソフト規格部会
    1. MIDI 及び音楽関連ソフトウェア事業に関する情報交換、勉強会の実施  
インターネットを始めとした新しいメディアに於ける音楽電子事業の研究
    2. ワーキンググループによる諸問題の討議、検討、規格化と実践

**[平成 18 年度 A M E I 著作権・ソフト委員会定例会開催スケジュール]**

	開催予定日	開催時間	備考
1	平成 18 年 4 月 13 日(木)	13:30~15:00	
2	平成 18 年 5 月 11 日(木)	13:00~15:00	
3	平成 18 年 6 月 8 日(木)	13:30~15:00	
4	平成 18 年 7 月 13 日(木)	13:30~15:00	
5	平成 18 年 9 月 14 日(木)	13:30~15:00	
6	平成 18 年 10 月 12 日(木)	13:30~15:00	
7	平成 18 年 11 月 9 日(木)	13:30~15:00	
8	平成 18 年 12 月 14 日(木)	15:30~17:00	会議終了後忘年会
9	平成 19 年 1 月 11 日(木)	13:30~15:00	
10	平成 19 年 2 月 8 日(木)	13:30~15:00	
11	平成 19 年 3 月 8 日(木)	13:30~15:00	

\* 毎月第 2 木曜日とする。但し、8 月は休み。

\* 会議は岩波セミナールームにて実施予定

**各部会、WG の主たる活動テーマ**

部会・WG	内容	会議・WG
カラオケ部会	JASRAC との協議	12 回
インターネット・モバイル部会	NMRC を通じ JASRAC との協議会 案件発生都度、臨時部会招集実施 NMRC 実務 WG を通じての JASRAC 他管理 事業者との意見交換会	11 回
ソフト規格部会	WG を通じての諸問題の検討	適宜
GCP-WG 楽器内蔵コンテンツ等の保護に 関する WG	前年度に引き続きコンテンツ保護に関する研 究	6 回 勉強会 1 回
DMN-WG 電子楽譜表示に関する WG	JASRAC への対応等状況により開催 通常はメール活用による情報交換	2 回
その他イベント等	随時	

## (5) 透かし推進プロジェクト

### 1、活動方針

AMEIが提供する「標準MIDI電子透かし」(第一層)埋め込みツールであるMIDIsignを用いて会員企業がISMC規格を利用するよう促進し、MIDIデータ作成販売におけるDRM(電子的権利保護)の仕組みを構築する。  
共通透かしの利用によりデータの違法複製抑止、並びに権利者からの円滑な許諾を獲得して業界の発展に貢献する。

### 2、プロジェクトは3つのワーキンググループによって構成される

#### 1) 技術ワーキンググループ

- ・第2層透かし技術を持った会員が登場した際の親和性及び評価手法自体の検討
- ・技術および開発面におけるメンテナンスと各社へのコンサルティングの実施
- ・米国MMAに対する技術面説明と採用へ向けた交渉の実施。

#### 2) 運用ワーキンググループ

- ・ISMC(仮称:International Standard MIDI Code)の規格普及。  
リコメンデッドパターン(会員企業が自己管理するスペースのテンプレート)の整理。
- ・管理運用サーバーの維持運営

#### 3) 普及展開ワーキンググループ

- ・MIDI規格委員会などAMEI内の各委員会、部会との連携
- ・利用促進パンフレットの作成と契約促進活動の展開
- ・外部団体への情報提供と連携
- ・米国MMAとの交渉を継続する

## (6) メディアコンテンツ委員会

昨年のデジタルコンテンツ委員会に於いて慎重な議論の結果、将来の市場の姿を配慮し、より今後の市場に相応しいテーマを捉えるべく、更に一層デジタル系の各種ソフトメディアに焦点をあて、今後更に発展、拡大が期待されている分野での新たな情報収集をする。更に、AMEIの、且つ市場の現状に即した委員会活動を目指して継続活動する旨を確認した。このためデジタルコンテンツ委員会改めメディアコンテンツ委員会としてスタートする。

### <委員会の活動ポイント>

“本来のコンテンツ”に焦点を合わせてサラウンド・サウンドやマルチスクリーンによる映像の組み合わせ等、最近の市場・市況に的を絞った活動に結びつける。

今期はこれまでの成果の上に、現在及び今後の市場の状況を踏まえて、サラウンド、或いはモバイル関連、映像関連など更に本来のコンテンツ制作に関わる基本技術、応用技術を研究し、セミナー・講演会等によりAMEI会員各位に啓蒙していく。

特に、MIDI環境の上でのAMEIが提案できる新たなコンテンツ作成手法についてもセミナー等を活用した積極的な活動を進める。

## (7) MIDI 検定委員会

### <活動方針>

- ・MIDI 検定試験の減少傾向に歯止めをかけ、拡大にむけて MIDI 検定のあり方、内容を含め見直しを図る
- ・指導者の育成プログラムを完成する
- ・2 級ライセンスとの情報交換、意見交換を強化する

### <事業計画>

#### ・検定試験

##### 1、第 9 回 MIDI 検定試験 3 級及び

第 8 回 2 級筆記試験 平成 18 年 12 月 3 日(日)

##### 2、第 8 回 2 級実技試験 平成 19 年 2 月 東京アップル、大阪会場

##### 3、4 級認定講座 随時

#### ・指導者認定講座

4 級指導者認定講座 東京、大阪 春

3 級指導者認定講座 東京、大阪 春

2 級筆記試験指導講座 夏～秋

#### ・ライセンスとの意見交換会 2 回予定

#### ・海外展開

- ・中国： 第 3 回試験を日本と同日、同内容で実施、2 級試験への準備が次の課題
- ・他国： 韓国は試験実施にむけての準備中、

## (8) 事業委員会

本年度は楽器フェアの非開催年度であり、基本的には準備期間とする。

「大楽器祭」が「2006 楽器フェスティバル」に企画変更されているので、その実施概要によっては出展是非について別途検討する。

AMEI としての主たる活動はセミナー、シンポジウム等の実施、或いは参加を通じて「AMEI の事業内容」の告知と音楽・電子楽器・各種関連ソフトウェア等の一般への認知を図る。

又、AMEI 事業に関連した諸活動についても併せて検討する。

尚、シンポジウムの開催を前提に予算を計上する。

## (9) 広報委員会

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員の連帯感を強め、公益団体としての当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

### 1) 会報「AMEI News」の発行

- ・定期会報：年 3 回発行予定(4 月、7 月、11 月)

### 2) ホームページの充実(事務局との連携により推進)

- ・各委員会、部会、WG 等の活動報告のページ
- ・会員用ページ
- ・その他

### 3) その他の広報活動を随時実施

以上